

2022 年 1 月 26 日

第 166 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 九州経済研究所

[調査要領]	
対象期間	2021 年 10～12 月期実績見込み 2022 年 1～3 月期見通し
調査時期	2021 年 12 月下旬
調査方法	インターネットおよび郵送
対象企業	県内主要企業 500 社
回答企業数	322 社(回答率 64.4%)
特別質問項目	本県の景気の現状などについて

用 語 今 期＝2021 年 10～12 月期 来 期＝2022 年 1～3 月期
 前 期＝2021 年 7～9 月期 前年同期＝2020 年 10～12 月期
 D.I. ＝「良い」－「悪い」、「増加」－「減少」、いずれも回答企業割合

「調査結果のポイント」

- ・業況 D.I.…今期 ▲19。前期の ▲39 より 20 ポイント増と**大幅に改善**。
来期 ▲17。今期より 2 ポイント増と**やや改善**する見込み。
- ・販売価格 D.I.…今期 25。前期の 12 より 13 ポイント増と**大幅に上昇**。
来期 23。今期から 2 ポイント減と**やや下落**の見込み。
- ・仕入価格 D.I.…今期 60。前期の 41 から 19 ポイント増と**大幅に上昇**。
来期 59。今期から 1 ポイント減と**ほぼ横ばい**となる見込み。
- ・経営上の問題点…
「人出不足・求人難」(50%)が最多となり、「原材料(仕入品)価格高」(47%)が続いた。前回まで 7 期連続トップだった「売上(受注)不振」(43%)は今回 3 番目となった。

・本県の景気の現状などについて

本県の景気の現状について、「横ばい」と回答した企業割合が 61%と最も多かった。また、「拡大している」「緩やかに拡大している」と回答した企業割合の合計は 20%、「緩やかに後退している」「後退している」と回答した企業割合の合計は 19%となり、D.I.は 1 となった。今回の D.I.(1)は前回調査(20 年 12 月)の D.I.(▲70)から 71 ポイント上昇し、12 年の調査開始以来最大の改善幅となった。

1. 今期の業況 ～マイナス圏ながら大幅に改善

今期の業況 D.I.は▲19 で、前期(▲39)から 20 ポイント増と大幅に改善した(図表 1)。コロナショックの影響で業況 D.I.は 2020 年 1～3 月期に▲42 となって以降大幅なマイナスが続いていたが、今回はコロナショック前の 2019 年 10～12 月期(▲21)以来の水準まで改善した。

業況 D.I.を業種別(大分類)でみると、製造業(同 ▲37→▲7)、その他産業(同 ▲47→▲21)、小売業(同 ▲55→▲34)がマイナス圏ながら大幅に改善した他、建設業(同 ▲16→▲13)も小幅ながら改善した。卸売業(同 ▲25→▲25)は横ばいだった(図表 1)。

業種別(中分類)でみると、コロナ感染が小康状態となって「まん延防止等重点措置」が 9 月末に解除されたことで外出や消費が増えたことから外食(▲100→▲20)、百貨店・スーパー(同 ▲86→▲29)などで大幅に改善し、県独自の観光助成事業が追い風となった旅館・ホテル業(▲100→▲22)も大幅に改善した。また、経済活動の回復により製造業の食料品(同 ▲61→▲12)、窯業・土石(同 ▲40→0)、機械・金属(同 ▲40→▲14)も大幅に改善した。一方、世界的な半導体不足による生産の遅れが影響した自動車小売り(同 ▲37→▲64)は大幅に下落した他、公共工事の伸び悩みや資材価格の高騰等の影響から総合建設(同 ▲17→▲43)が大幅に下落、建築(同 ▲14→▲23)も下落した。

2. 来期の業況見通し ～やや改善

来期の業況見通し D.I.は▲17 で今期(▲19)から 2 ポイント増とやや改善する見通し(図表 1)。

業況見通し D.I.を業種別(大分類)にみると、経済活動回復への期待が続くことから、小売業(今期 ▲34→来期 ▲20)がマイナス圏ながら大幅に改善し、建設業(同 ▲13→▲4)、卸売業(同 ▲25→▲16)も改善する見込み。一方、感染力が強いとされるオミクロン株の感染拡大への懸念により、その他産業(同 ▲21→▲28)が下落を見込む他、燃料・原材料価格の高騰が懸念される製造業(同 ▲7→▲12)も下落する見込み。

3. 販売価格 D.I.

今期の販売価格 D.I.は 25 で前期(12)から 13 ポイント増と大幅に上昇した(図表 1)。仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁する動きが見られる。

来期の販売価格 D.I.は 23 で今期(25)からやや下落するが、販売価格への転嫁は続く見込み。

4. 仕入価格 D.I.

今期の仕入価格 D.I.は 60 で前期(41)から 19 ポイント増と上昇した(図表 1)。原油や穀物、半導体部品など原材料価格の高騰で、仕入価格の上昇が続いている。

来期の仕入価格 D.I.は 59 で今期(60)とほぼ横ばいの高い水準が続くと見込んでいる。

5. 設備投資 ～実施した企業割合はほぼ横ばい

今期、設備投資を実施した企業割合は 35%と、前期(36%)とほぼ横ばいとなった(図表 6、7)。**来期に設備投資**を予定する企業割合は 33%と、今期(35%)からやや減少する見込み。

今期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで 255 億円、前年同期比 37.1%増となった(図表 8)。業種別では製造業の 148 億円(前年同期比 5.0%増)が最も多く、その他産業が 86 億円(同 218.5%増)、小売業が 11 億円(同 22.2%増)、卸売業が 7 億円(同 16.7%増)、建設業が 4 億円(同 33.3%増)の順となった。

来期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで 215 億円となり、前年同期比 21.5%増となる見通し。業種別では製造業の 181 億円(前年同期比 29.3%増)が最も多く、以下、その他産業が 15 億円(同 6.3%減)、小売業が 13 億円(同 18.8%減)、卸売業が 3 億円(前年と同水準)、建設業が 3 億円(同 50.0%増)の順となった。

1 社当たり設備投資の金額別構成比をみると、今期の全産業では「1 千万円未満」が全体の 43%で最多となった(図表 9)。次いで、「1~5 千万円未満」(24%)、「5 千万~1 億円未満」(15%)、「1~5 億円未満」(10%)、「10 億円以上」(6%)、「5~10 億円未満」(2%)と続いた。また、来期は「1 千万円未満」が 38%で最も多く、次いで、「1~5 千万円未満」(27%)、「1~5 億円未満」(21%)、「5 千万~1 億円未満」(11%)、「10 億円以上」(4%)となった。

業種別(大分類)にみると、今期は製造業、建設業、卸売業、その他産業で「1 千万円未満」が最も多く、小口投資が目立った。なお、10 億円以上の大型投資は製造業、その他産業で計上された。

来期は製造業、卸売業で「1~5 千万円未満」、小売業で「1~5 億円未満」の割合が増加する見通し。また、10 億円以上の大型投資は製造業で計上されている。

6. 経営上の問題点(内部環境・外部環境) ~「人手不足・求人難」が最多

経営上の問題点(内部環境・外部環境)は、「人手不足・求人難」を挙げる企業割合が 50%(前期 39%)で最も多くなり、2 番目に多かったのは「原材料(仕入品)価格高」の 47%で前期の 35%から 12 ポイント増加した。前期まで 7 期連続でトップだった「売上(受注)不振」は 43%(前期 52%)で 3 番目となった(図表 10、11)。

7. 本県の景気の現状などについて

本県の景気の現状について、「横ばい」と回答した企業割合が 61%と最も多かった(図表 12)。また、「拡大している」「緩やかに拡大している」と回答した企業割合の合計は 20%、「緩やかに後退している」「後退している」と回答した企業割合の合計は 19%となり、D.I.は 1 となった。今回の D.I.(1)は前回調査(20 年 12 月)の D.I.(▲70)から 71 ポイント上昇し、12 年の調査開始以来、最大の上げ幅となった。業種別にみても全ての業種で大幅に上昇した。前年ほどの深刻さは見られないものの、「横ばい」と回答した企業が 6 割を占めるなど景気の現状に対しては中立的な見方が多かった。

「拡大している」または「緩やかに拡大している」とした要因は、「個人消費の回復」(78%)が最も多く、次いで「観光客の増加」(35%)、「補正予算などの政策効果」(18%)、「公共

工事の増加」、「住宅投資の活発化」(ともに 16%)の順となった(図表 13)。

「緩やかに後退している」または「後退している」とした要因は、「個人消費の低迷」が 78%と最も多く、次いで「新型コロナウイルスの感染拡大」(61%)、「燃料・原材料の価格高騰」、「外国人観光客の減少」(ともに 48%)、「日本人観光客の減少」(39%)などの順となった。

本県の景気が本格回復する時期を尋ねたところ、「1 年超(2023 年以降)」が 49%と最も多く、次いで「1 年後(2022 年後半)」(28%)が続いた(図表 14)。一方、「本格回復しない」は 12%で、前回(18%)より、6 ポイント減少した。

今後の本県の景気における懸念材料については、「新型コロナウイルスの感染拡大」が 64%と最も多く、次いで「燃料・原材料の価格高騰」(57%)、「個人消費の低迷」(54%)の順となった(図表 15)。

政府に対して期待する経済対策については、「地域経済振興のための施策」が 58%と最も多く、次いで「新型コロナウイルスの感染拡大防止策(医療体制の増強やワクチン開発など)」(57%)、「雇用対策」、「人出不足解消」(ともに 34%)の順となった(図表 16)。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)九州経済研究所(Tel 099-225-7491)

《資料編》

第166回県内企業・業況調査結果集計表

図表1 各項目D.I.

単位：％

状 況 項 目	2021年7～9月期				2021年10～12月期					2022年1～3月期				
	前期 実績				今期 実績					来期 見通し				
	良い	普通	悪い	D. I.	良い	普通	悪い	D. I.	差	良い	普通	悪い	D. I.	差
	増加 (A)	同程度 (B)	減少 (C)	(A)-(C)	増加 (A)	同程度 (B)	減少 (C)	(A)-(C)	(今期-前期)	増加 (A)	同程度 (B)	減少 (C)	(A)-(C)	(来期-今期)
自社の業況	7	47	46	▲39	13	55	32	▲19	(20)	12	59	29	▲17	(2)
製造業	11	41	48	▲37	20	53	27	▲7	(30)	16	56	28	▲12	(▲5)
建設業	4	76	20	▲16	9	69	22	▲13	(3)	11	74	15	▲4	(9)
卸売業	6	63	31	▲25	6	63	31	-	(0)	0	84	16	▲16	(9)
小売業	4	37	59	▲55	8	50	42	▲34	(21)	10	60	30	▲20	(14)
その他産業	7	39	54	▲47	15	49	36	▲21	(26)	12	48	40	▲28	(▲7)
生産高(製造業)	28	39	33	▲5	29	49	22	7	(12)	29	50	21	8	(1)
売上・完工高	22	41	37	▲15	28	37	35	▲7	(8)	24	52	24	0	(7)
製造業	28	39	33	▲5	31	44	25	6	(11)	33	46	21	12	(6)
建設業	20	56	24	▲4	20	50	30	▲10	(▲6)	15	63	22	▲7	(3)
卸売業	20	43	37	▲17	25	41	34	▲9	(8)	9	72	19	▲10	(▲1)
小売業	19	35	46	▲27	24	32	44	▲20	(7)	20	50	30	▲10	(10)
その他産業	20	40	40	▲20	33	25	42	▲9	(11)	25	49	26	▲1	(8)
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足							
製造業	9	78	13	▲4	7	77	16	▲9	(▲5)					
建設業	10	70	20	▲10	8	71	21	▲13	(▲3)					
卸売業	3	80	17	▲14	0	78	22	▲22	(▲8)					
小売業	14	77	9	5	13	78	9	4	(▲1)					
その他産業	13	78	9	4	10	67	23	▲13	(▲17)					
その他産業	6	85	9	▲3	4	89	7	-	(0)					
損 益	好転	横ばい	悪化		好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化		
製造業	17	48	35	▲18	23	44	33	▲10	(8)	16	56	28	▲12	(▲2)
建設業	29	40	31	▲2	31	43	26	5	(7)	24	49	27	▲3	(▲8)
卸売業	13	65	22	▲9	15	61	24	-	(0)	6	70	24	▲18	(▲9)
小売業	14	60	26	▲12	19	47	34	▲15	(▲3)	3	78	19	▲16	(▲1)
その他産業	7	43	50	▲43	14	42	44	▲30	(13)	12	60	28	▲16	(14)
その他産業	13	46	41	▲28	25	38	37	▲12	(16)	21	46	33	-	(0)
販 売 価 格	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下			上昇	横ばい	低下		
製造業	20	72	8	12	30	65	5	25	(13)	29	65	6	23	(▲2)
建設業	18	74	8	10	22	74	4	18	(8)	27	70	3	24	(6)
卸売業	28	67	5	23	51	42	7	44	(21)	42	51	7	35	(▲9)
小売業	37	54	9	28	47	44	9	38	(10)	43	50	7	36	(▲2)
その他産業	25	66	9	16	33	65	2	31	(15)	32	66	2	30	(▲1)
その他産業	7	83	10	▲3	21	73	6	15	(18)	17	74	9	8	(▲7)
仕 入 価 格	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下			上昇	横ばい	低下		
製造業	44	53	3	41	62	36	2	60	(19)	60	39	1	59	(▲1)
建設業	56	40	4	52	74	26	0	74	(22)	74	26	0	-	(0)
卸売業	52	48	0	52	78	22	0	78	(26)	71	29	0	71	(▲7)
小売業	44	50	6	38	59	38	3	56	(18)	47	50	3	44	(▲12)
その他産業	38	60	2	36	41	55	4	37	(1)	46	54	0	46	(9)
その他産業	30	66	4	26	55	43	2	53	(27)	51	45	4	47	(▲6)
資 金 繰 り	楽	普通	窮屈		楽	普通	窮屈			楽	普通	窮屈		
製造業	6	74	20	▲14	6	76	18	▲12	(2)	5	76	19	▲14	(▲2)
建設業	8	73	19	▲11	7	75	18	-	(0)	4	78	18	▲14	(▲3)
卸売業	7	89	4	3	4	85	11	▲7	(▲10)	2	85	13	▲11	(▲4)
小売業	3	91	6	▲3	0	84	16	▲16	(▲13)	0	81	19	▲19	(▲3)
その他産業	2	78	20	▲18	6	78	16	▲10	(8)	6	80	14	▲8	(2)
その他産業	7	58	35	▲28	7	68	25	▲18	(10)	8	66	26	-	(0)
雇 用 人 員	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足			過剰	適正	不足		
製造業	9	57	34	▲25	3	51	46	▲43	(▲18)	3	51	46	-	(0)
建設業	14	53	33	▲19	5	48	47	▲42	(▲23)	7	50	43	▲36	(6)
卸売業	2	53	45	▲43	4	46	50	▲46	(▲3)	2	48	50	▲48	(▲2)
小売業	6	63	31	▲25	3	59	38	▲35	(▲10)	3	63	34	▲31	(4)
その他産業	4	59	37	▲33	2	48	50	▲48	(▲15)	2	40	58	▲56	(▲8)
その他産業	11	61	28	▲17	0	56	44	▲44	(▲27)	0	56	44	-	(0)

図表2 業況D.I. (中分類)

	2021年7～9月期	2021年10～12月期		2022年1～3月期	
	前 期	今期 実績	差(今期－前期)	来期 見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 39	▲ 19	20	▲ 17	2
製 造 業	▲ 37	▲ 7	30	▲ 12	▲ 5
食 料 品	▲ 61	▲ 12	49	▲ 16	▲ 4
織 維	0	▲ 50	▲ 50	0	50
木 材	40	40	0	20	▲ 20
紙・パルプ	0	0	0	100	100
窯業・土石	▲ 40	0	40	▲ 10	▲ 10
機械・金属	▲ 40	▲ 14	26	▲ 7	7
電機・電子	0	0	0	▲ 20	▲ 20
そ の 他	0	0	0	▲ 17	▲ 17
建 設 業	▲ 16	▲ 13	3	▲ 4	9
土 木	▲ 33	0	33	0	0
建 築	▲ 14	▲ 23	▲ 9	▲ 15	8
総 合 建 設	▲ 17	▲ 43	▲ 26	▲ 14	29
そ の 他	10	0	▲ 10	10	10
卸 売 業	▲ 25	▲ 25	0	▲ 16	9
食 料 品	▲ 29	▲ 25	4	▲ 8	17
建設資材	▲ 25	13	38	0	▲ 13
家電卸売	0	▲ 50	▲ 50	0	50
そ の 他	▲ 28	▲ 50	▲ 22	▲ 40	10
小 売 業	▲ 55	▲ 34	21	▲ 20	14
百貨店・スーパー	▲ 86	▲ 29	57	▲ 22	7
衣 料 品	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	0
自 動 車	▲ 37	▲ 64	▲ 27	▲ 18	46
家電製品	▲ 100	▲ 50	50	▲ 50	0
石油・ガス	▲ 43	▲ 17	26	▲ 17	0
そ の 他	▲ 38	▲ 18	20	▲ 13	5
そ の 他 産 業	▲ 47	▲ 21	26	▲ 28	▲ 7
旅館・ホテル	▲ 100	▲ 22	78	▲ 77	▲ 55
運輸・通信	▲ 48	▲ 28	20	▲ 6	22
外 食	▲ 100	▲ 20	80	▲ 100	▲ 80
その他サービス	▲ 31	▲ 23	8	▲ 21	2

図表3 売上・完工高D.I. (中分類)

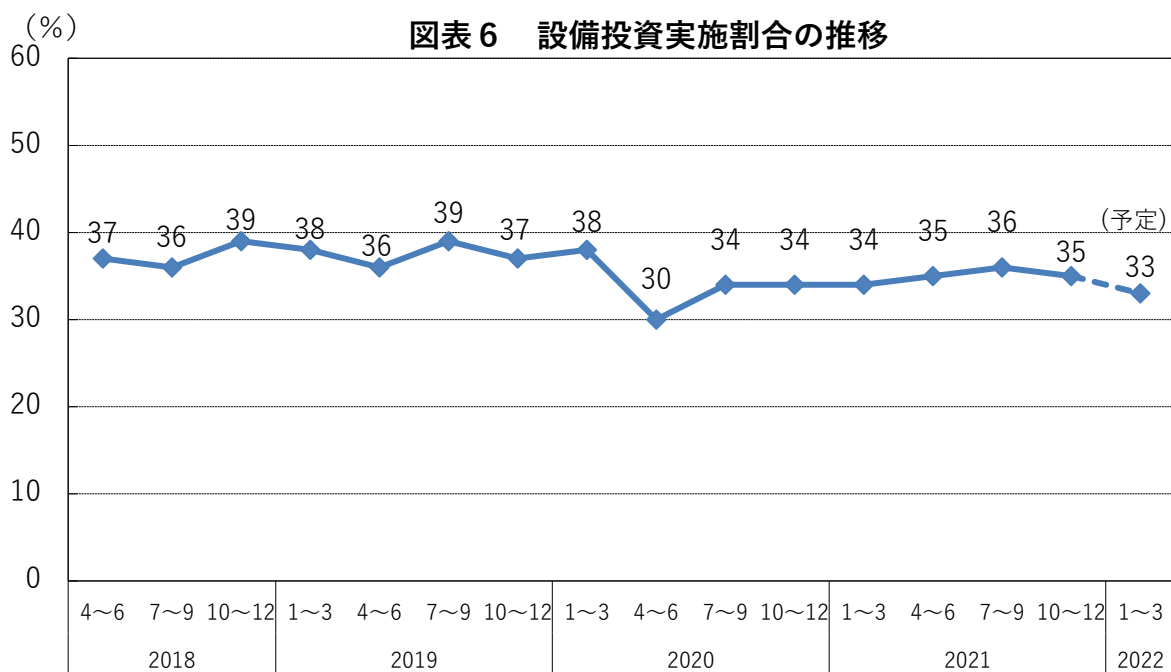
	2021年7～9月期	2021年10～12月期		2022年1～3月期	
	前 期	今期 実績	差(今期－前期)	来期 見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 15	▲ 7	8	0	7
製 造 業	▲ 5	6	11	12	6
食 料 品	▲ 30	0	30	12	12
織 維	0	0	0	50	50
木 材	60	40	▲ 20	40	0
紙・パルプ	50	100	50	100	0
窯業・土石	▲ 10	▲ 20	▲ 10	▲ 10	10
機械・金属	▲ 6	14	20	13	▲ 1
電機・電子	47	30	▲ 17	0	▲ 30
そ の 他	0	0	0	16	16
建 設 業	▲ 4	▲ 10	▲ 6	▲ 7	3
土 木	▲ 20	▲ 24	▲ 4	▲ 7	17
建 築	▲ 15	8	23	0	▲ 8
総 合 建 設	▲ 16	▲ 43	▲ 27	▲ 29	14
そ の 他	40	10	▲ 30	0	▲ 10
卸 売 業	▲ 17	▲ 9	8	▲ 10	1
食 料 品	▲ 15	16	31	0	▲ 16
建設資材	▲ 37	▲ 13	24	0	13
家電卸売	▲ 50	▲ 100	▲ 50	▲ 100	0
そ の 他	0	▲ 20	▲ 20	▲ 10	10
小 売 業	▲ 27	▲ 20	7	▲ 10	10
百貨店・スーパー	▲ 58	▲ 8	50	▲ 29	▲ 21
衣 料 品	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	0
自 動 車	0	▲ 55	▲ 55	0	55
家電製品	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	0
石油・ガス	▲ 15	17	32	33	16
そ の 他	▲ 11	▲ 7	4	0	7
そ の 他 産 業	▲ 20	▲ 9	11	▲ 1	8
旅館・ホテル	▲ 42	▲ 39	3	▲ 8	31
運輸・通信	▲ 16	17	33	17	0
外 食	▲ 100	▲ 20	80	▲ 40	▲ 20
その他サービス	▲ 11	▲ 8	3	▲ 4	4

図表4 損益D.I. (中分類)

	2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
	前 期		今期実績	差(今期－前期)	来期見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 18		▲ 10	8	▲ 12	▲ 2
製 造 業	▲ 2		5	7	▲ 3	▲ 8
食 料 品	▲ 19		▲ 4	15	▲ 8	▲ 4
織 維	▲ 50		50	100	50	0
木 材	60		40	▲ 20	20	▲ 20
紙・パルプ	50		100	50	100	0
窯業・土石	▲ 10		▲ 20	▲ 10	▲ 30	▲ 10
機械・金属	▲ 13		6	19	7	1
電機・電子	39		30	▲ 9	0	▲ 30
そ の 他	16		16	0	0	▲ 16
建 設 業	▲ 9		▲ 9	0	▲ 18	▲ 9
土 木	▲ 27		▲ 12	15	▲ 12	0
建 築	0		8	8	▲ 7	▲ 15
総合建設	▲ 50		▲ 43	7	▲ 43	0
そ の 他	30		0	▲ 30	▲ 20	▲ 20
卸 売 業	▲ 12		▲ 15	▲ 3	▲ 16	▲ 1
食 料 品	▲ 22		▲ 16	6	0	16
建設資材	▲ 25		24	49	0	▲ 24
家電卸売	▲ 50		▲ 100	▲ 50	▲ 50	50
そ の 他	18		▲ 30	▲ 48	▲ 40	▲ 10
小 売 業	▲ 43		▲ 30	13	▲ 16	14
百貨店・スーパー	▲ 50		▲ 8	42	▲ 8	0
衣 料 品	▲ 100		▲ 100	0	▲ 100	0
自 動 車	▲ 18		▲ 55	▲ 37	9	64
家電製品	▲ 50		▲ 100	▲ 50	▲ 100	0
石油・ガス	▲ 43		▲ 17	26	▲ 50	▲ 33
そ の 他	▲ 44		▲ 24	20	▲ 13	11
そ の 他 産 業	▲ 28		▲ 12	16	▲ 12	0
旅館・ホテル	▲ 67		▲ 22	45	▲ 29	▲ 7
運輸・通信	▲ 31		▲ 38	▲ 7	▲ 23	15
外 食	▲ 100		▲ 40	60	▲ 60	▲ 20
その他サービス	▲ 9		0	9	▲ 2	▲ 2

図表5 資金繰りD.I. (中分類)

	2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
	前 期		今期実績	差(今期－前期)	来期見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 14		▲ 12	2	▲ 14	▲ 2
製 造 業	▲ 11		▲ 11	0	▲ 14	▲ 3
食 料 品	▲ 15		▲ 7	8	▲ 13	▲ 6
織 維	▲ 50		▲ 50	0	▲ 50	0
木 材	0		▲ 20	▲ 20	▲ 20	0
紙・パルプ	50		0	▲ 50	0	0
窯業・土石	▲ 10		▲ 10	0	▲ 20	▲ 10
機械・金属	6		0	▲ 6	0	0
電機・電子	▲ 17		▲ 11	6	▲ 11	0
そ の 他	▲ 17		▲ 50	▲ 33	▲ 33	17
建 設 業	3		▲ 7	▲ 10	▲ 11	▲ 4
土 木	7		▲ 13	▲ 20	▲ 13	0
建 築	7		8	1	▲ 8	▲ 16
総合建設	0		▲ 14	▲ 14	▲ 14	0
そ の 他	▲ 10		▲ 10	0	▲ 10	0
卸 売 業	▲ 3		▲ 16	▲ 13	▲ 19	▲ 3
食 料 品	0		0	0	▲ 8	▲ 8
建設資材	0		▲ 25	▲ 25	▲ 25	0
家電卸売	0		0	0	0	0
そ の 他	▲ 9		▲ 30	▲ 21	▲ 30	0
小 売 業	▲ 18		▲ 10	8	▲ 8	2
百貨店・スーパー	▲ 50		▲ 43	7	▲ 43	0
衣 料 品	▲ 100		0	100	0	0
自 動 車	▲ 9		▲ 9	0	0	9
家電製品	0		▲ 50	▲ 50	▲ 50	0
石油・ガス	0		17	17	17	0
そ の 他	0		13	13	13	0
そ の 他 産 業	▲ 28		▲ 18	10	▲ 18	0
旅館・ホテル	▲ 75		▲ 43	32	▲ 69	▲ 26
運輸・通信	▲ 21		▲ 12	9	0	12
外 食	▲ 80		▲ 60	20	▲ 60	0
その他サービス	▲ 13		▲ 9	4	▲ 10	▲ 1



図表7 設備投資

単位：％

			全 産 業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
2021 年 1 0 ～ 1 2 月 (今 期 実 績)	実 施 し た		35	39	15	34	32	41
	投 資 目 的	設備の維持・更新	86	82	100	64	94	90
		生産・販売能力増強	36	34	33	18	44	39
		省力化・合理化・省エネ	20	24	33	9	19	18
		経営多角化	5	0	0	18	6	5
		新製品の研究開発	4	5	0	18	0	0
		その他	2	0	0	0	0	5
	実 施 し な か っ た		65	61	85	66	68	59
2022 年 1 ～ 3 月 (来 期 見 通 し)	実 施 予 定		33	40	18	28	26	40
	投 資 目 的	設備の維持・更新	77	68	100	78	85	79
		生産・販売能力増強	39	53	14	33	54	26
		省力化・合理化・省エネ	26	37	29	11	46	11
		経営多角化	7	3	0	11	8	11
		新製品の研究開発	7	11	0	0	8	5
		その他	1	0	0	0	0	3
	実 施 予 定 な し		67	60	82	72	74	60

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答。

図表8 設備投資の合計金額（実額）

[今期]

(単位：億円、%)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
今期(2021年10～12月期)	255	148	4	7	11	86
前年同期(2020年10～12月期)	186	141	3	6	9	27
今期増減率	37.1	5.0	33.3	16.7	22.2	218.5

注) 回答企業の単純合計により算出している（下図も同様）。

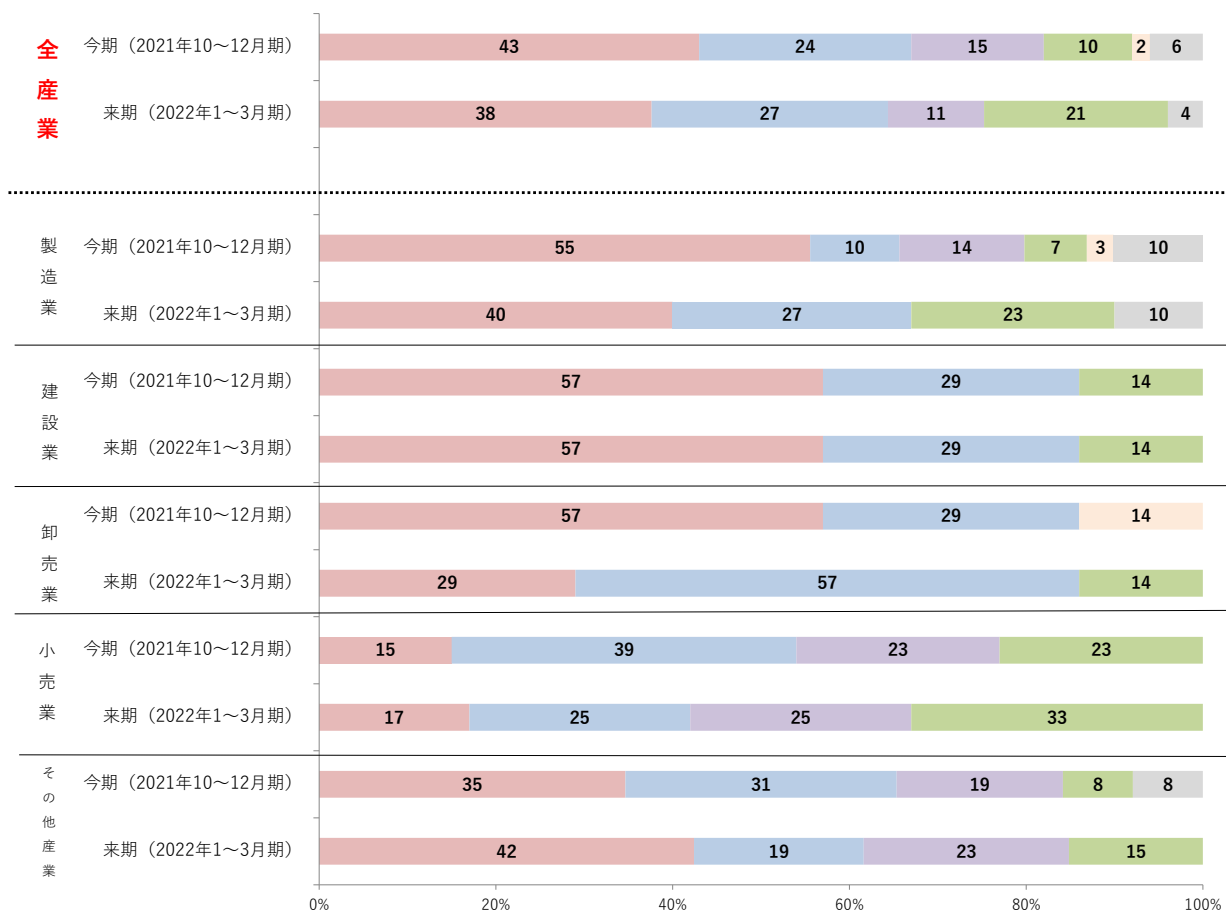
[来期]

(単位：億円、%)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
来期(2022年1～3月期) 見込み	215	181	3	3	13	15
前年同期(2021年1～3月期)	190	149	2	5	23	11
来期増減率	13.2	21.5	50.0	▲ 40.0	▲ 43.5	36.4

図表9 1社当たり設備投資の金額別構成比

■ 1千万円未満 ■ 1～5千万円未満 ■ 5千万～1億円未満 ■ 1～5億円未満 ■ 5～10億円未満 ■ 10億円以上



注) 四捨五入のため合計が100にならない箇所がある。

※サンプル数

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
今期	82	29	7	7	13	26
来期	82	30	7	7	12	26

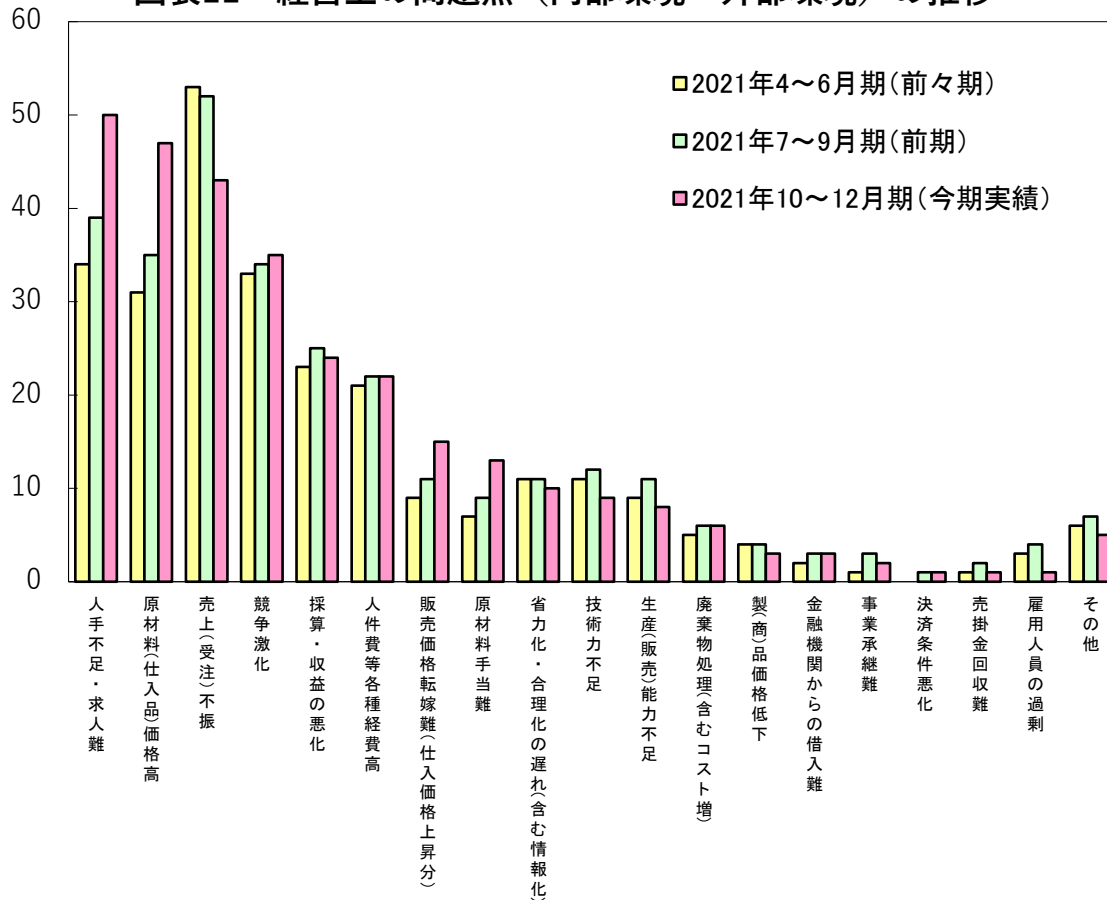
図表10 経営上の問題点（内部環境・外部環境）

単位：％

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
人手不足・求人難	50	50	64	23	44	54
原材料（仕入品）価格高	47	65	47	43	34	36
売上（受注）不振	43	39	36	27	46	54
競争激化	35	19	47	43	50	35
採算・収益の悪化	24	20	20	27	22	29
人件費等各種経費高	22	21	20	7	32	23
販売価格転嫁難（仕入価格上昇分）	15	21	7	30	8	11
原材料手当難	13	22	16	10	8	7
省力化・合理化の遅れ（含む情報化）	10	13	7	7	8	12
技術力不足	9	10	16	7	8	7
生産（販売）能力不足	8	8	7	10	16	5
廃棄物処理（含むコスト増）	6	11	4	0	2	6
製品（商品）価格低下	3	5	0	7	0	3
金融機関からの借入難	3	2	0	0	4	5
事業継承難	2	3	2	0	2	0
決済条件悪化	1	0	0	0	0	2
売掛金回収難	1	1	0	7	0	0
雇用人員の過剰	1	3	0	0	0	0
その他	5	2	7	3	6	6

（注）複数回答

（％） 図表11 経営上の問題点（内部環境・外部環境）の推移



【鹿児島県の景気の現状などについて】 n=318

図表 12 本県の景気の現状

(単位: %)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
拡大している	0	0	0	0	0	0
緩やかに拡大している	20	22	18	19	18	20
横ばい	61	58	73	66	58	60
緩やかに後退している	15	17	9	12	18	15
後退している	4	3	0	3	6	5
D.I.(今回:2021年12月) (A)	1	2	9	4	▲ 6	0
D.I.(前回:2020年12月) (B)	▲ 70	▲ 71	▲ 50	▲ 75	▲ 75	▲ 75
増減 (A)－(B)	71	73	59	79	69	75

図表 13 景気の拡大要因・後退要因(複数回答)

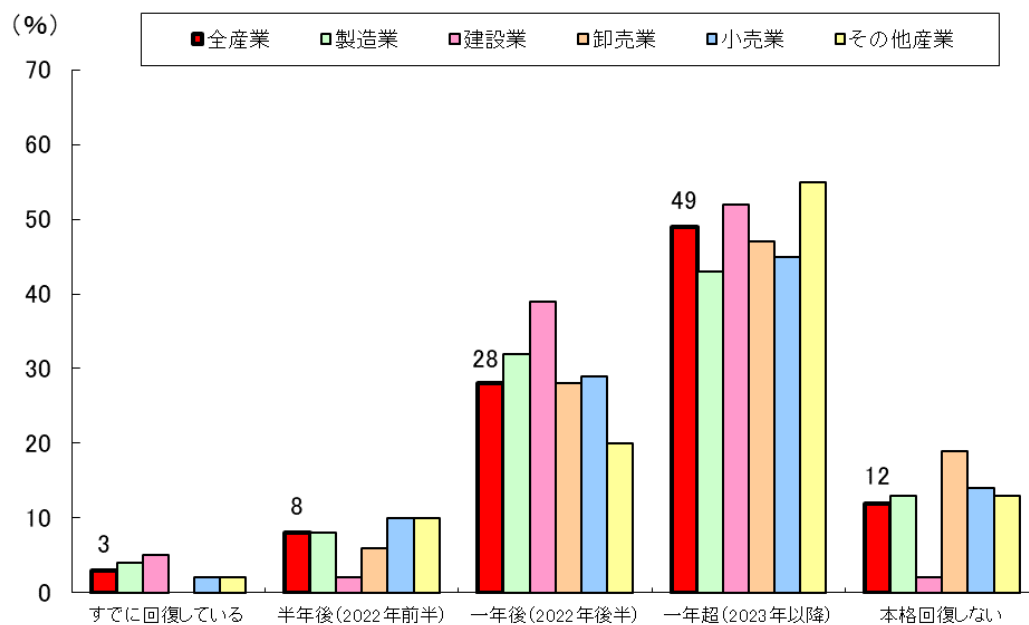
(単位: %)

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
拡大要因 注1	個人消費の回復	78	71	75	67	100	79
	観光客の増加	35	38	25	17	33	42
	補正予算などの政策効果	18	10	38	17	11	21
	公共工事の増加	16	5	13	17	22	26
	住宅投資の活発化	16	10	63	17	22	0
	設備投資の活発化	14	14	25	17	11	11
	雇用・所得環境の改善	13	14	0	0	33	11
	中国など新興国の経済回復	5	14	0	0	0	0
	欧米など先進国の経済回復	3	10	0	0	0	0
	為替・株式動向	0	0	0	0	0	0
	その他	6	10	0	17	0	5
後退要因 注2	個人消費の低迷	78	68	75	60	83	90
	新型コロナウイルスの感染拡大	61	68	50	20	67	63
	燃料・原材料の価格高騰	48	53	75	40	50	37
	外国人観光客の減少	48	47	50	40	50	47
	日本人観光客の減少	39	21	25	20	58	53
	雇用・所得環境の悪化	36	32	25	20	50	37
	人手不足	36	26	50	40	25	47
	公共工事の減少	12	16	50	0	8	5
	政策効果の息切れ	12	5	25	0	25	11
	住宅投資の減速	7	5	50	0	0	5
	中国など新興国経済の減速	7	11	0	0	0	11
	消費増税の影響	7	0	0	0	17	11
	設備投資の落ち込み	5	0	50	20	0	0
	欧米など先進国経済の減速	5	16	0	0	0	0
	為替・株式動向	2	5	0	0	0	0
	米中貿易摩擦の影響	2	5	0	0	0	0
	日韓関係の悪化	0	0	0	0	0	0
	その他	3	5	0	0	8	0

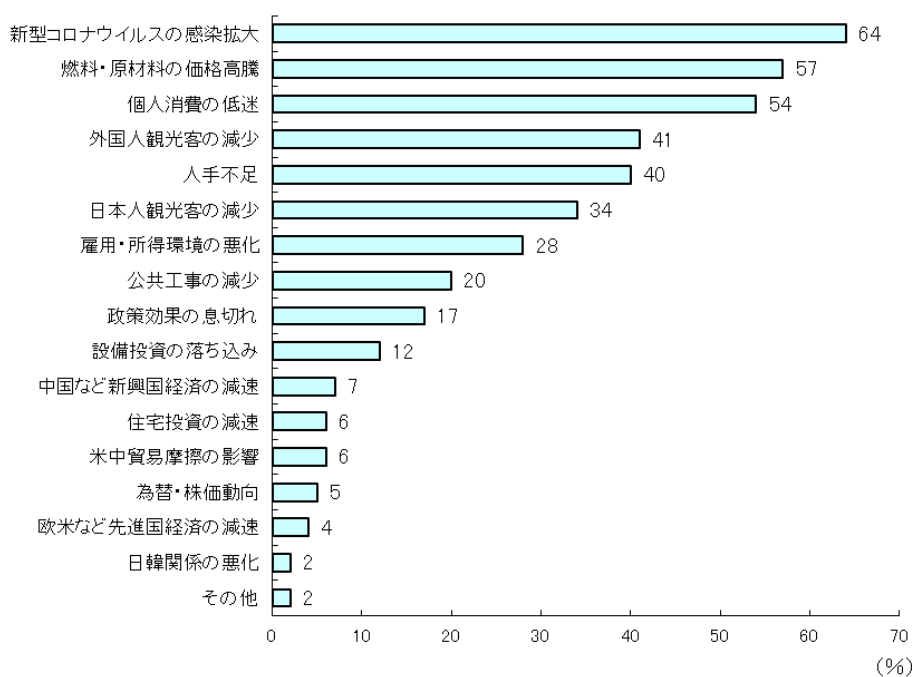
注1)「拡大している」「緩やかに拡大している」と答えた企業のみ回答。

注2)「緩やかに後退している」「後退している」と答えた企業のみ回答。

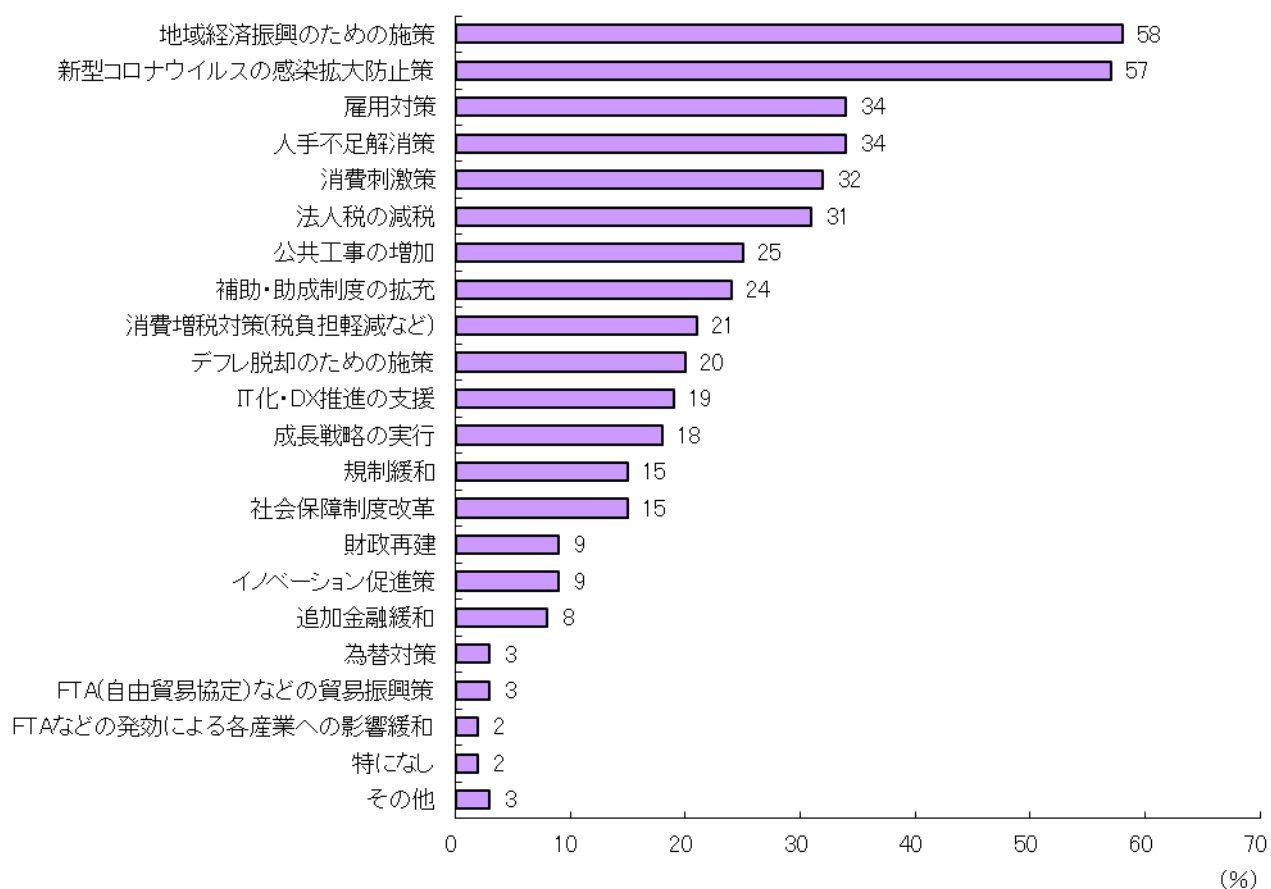
図表 14 景気が本格回復する時期



図表 15 今後の懸念材料（複数回答）



図表 16 政府に対して期待する経済対策（複数回答）



(参考)

回答率

	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	147	97	66.0
食 料 品	77	48	62.3
織 維	3	2	66.7
木 材	8	5	62.5
紙・パルプ	3	1	33.3
窯業・土石	12	10	83.3
機械・金属	19	15	78.9
電機・電子	15	10	66.7
そ の 他	10	6	60.0
非製造業 計	353	225	63.7
建設業	75	46	61.3
土 木	21	16	76.2
建 築	23	13	56.5
総合建設	15	7	46.7
そ の 他	16	10	62.5
卸売業	51	32	62.7
食 料 品	21	12	57.1
建設資材	11	8	72.7
家電卸売	3	2	66.7
そ の 他	16	10	62.5
小売業	82	50	61.0
百貨店・スーパー	18	14	77.8
衣 料 品	4	1	25.0
自 動 車	15	11	73.3
家電製品	4	2	50.0
石油・ガス	8	6	75.0
そ の 他	33	16	48.5
その他産業	145	97	66.9
旅館・ホテル	22	14	63.6
運 輸	30	18	60.0
外 食	11	5	45.5
サービス	72	54	75.0
農林水産	10	6	60.0
合計（製造+非製造）	500	322	64.4

業況D.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2010年	4～6 月期	▲ 40	▲ 30	▲ 46	▲ 48	▲ 46	▲ 41
	7～9 //	▲ 42	▲ 41	▲ 59	▲ 42	▲ 39	▲ 41
	10～12 //	▲ 34	▲ 23	▲ 46	▲ 31	▲ 50	▲ 32
2011年	1～3 //	▲ 31	▲ 30	▲ 33	▲ 21	▲ 30	▲ 37
	4～6 //	▲ 29	▲ 22	▲ 44	▲ 55	▲ 25	▲ 17
	7～9 //	▲ 30	▲ 29	▲ 41	▲ 31	▲ 46	▲ 19
	10～12 //	▲ 20	▲ 19	▲ 36	▲ 21	▲ 37	▲ 3
2012年	1～3 //	▲ 19	▲ 23	▲ 25	▲ 14	▲ 32	▲ 9
	4～6 //	▲ 25	▲ 22	▲ 45	▲ 20	▲ 42	▲ 13
	7～9 //	▲ 28	▲ 32	▲ 26	▲ 28	▲ 31	▲ 26
	10～12 //	▲ 23	▲ 23	▲ 20	▲ 13	▲ 40	▲ 20
2013年	1～3 //	▲ 21	▲ 34	▲ 4	▲ 29	▲ 21	▲ 15
	4～6 //	▲ 16	▲ 27	▲ 6	▲ 17	▲ 31	▲ 3
	7～9 //	▲ 10	▲ 20	▲ 4	▲ 7	▲ 15	▲ 7
	10～12 //	▲ 4	▲ 14	21	0	▲ 9	▲ 4
2014年	1～3 //	7	▲ 4	32	7	10	1
	4～6 //	▲ 15	▲ 17	▲ 14	▲ 25	▲ 37	▲ 1
	7～9 //	▲ 14	▲ 20	1	▲ 17	▲ 31	▲ 9
	10～12 //	▲ 10	▲ 9	11	▲ 30	▲ 35	▲ 2
2015年	1～3 //	▲ 13	▲ 16	3	▲ 24	▲ 23	▲ 11
	4～6 //	▲ 20	▲ 29	▲ 17	▲ 25	▲ 37	▲ 7
	7～9 //	▲ 17	▲ 25	▲ 17	▲ 5	▲ 24	▲ 12
	10～12 //	▲ 10	▲ 16	2	▲ 15	▲ 24	▲ 1
2016年	1～3 //	▲ 7	▲ 17	6	▲ 24	▲ 16	5
	4～6 //	▲ 18	▲ 25	▲ 4	▲ 5	▲ 17	▲ 28
	7～9 //	▲ 11	▲ 19	6	▲ 9	▲ 31	▲ 5
	10～12 //	▲ 10	▲ 6	▲ 4	▲ 12	▲ 13	▲ 11
2017年	1～3 //	▲ 10	▲ 25	15	▲ 7	▲ 17	▲ 5
	4～6 //	▲ 4	▲ 16	10	▲ 5	▲ 6	1
	7～9 //	▲ 2	▲ 7	8	▲ 16	5	▲ 1
	10～12 //	1	▲ 6	6	▲ 10	12	3
2018年	1～3 //	▲ 3	▲ 8	0	▲ 2	▲ 1	▲ 4
	4～6 //	▲ 7	▲ 14	2	▲ 20	▲ 9	0
	7～9 //	▲ 8	▲ 18	10	▲ 6	▲ 9	▲ 9
	10～12 //	▲ 13	▲ 21	5	▲ 23	▲ 31	▲ 2
2019年	1～3 //	▲ 16	▲ 32	0	▲ 25	▲ 17	▲ 7
	4～6 //	▲ 17	▲ 29	▲ 8	▲ 23	▲ 21	▲ 7
	7～9 //	▲ 22	▲ 28	▲ 4	▲ 33	▲ 17	▲ 22
	10～12 //	▲ 21	▲ 22	▲ 10	▲ 38	▲ 42	▲ 12
2020年	1～3 //	▲ 42	▲ 51	▲ 11	▲ 46	▲ 38	▲ 49
	4～6 //	▲ 52	▲ 59	▲ 20	▲ 50	▲ 45	▲ 69
	7～9 //	▲ 50	▲ 68	▲ 10	▲ 55	▲ 28	▲ 61
	10～12 //	▲ 39	▲ 50	▲ 9	▲ 47	▲ 25	▲ 47
2021年	1～3 //	▲ 36	▲ 51	▲ 3	▲ 23	▲ 16	▲ 54
	4～6 //	▲ 34	▲ 35	2	▲ 30	▲ 43	▲ 44
	7～9 //	▲ 39	▲ 37	▲ 16	▲ 25	▲ 55	▲ 47
	10～12 //	▲ 19	▲ 7	▲ 13	▲ 25	▲ 34	▲ 21
2022年	1～3 月期見通し	▲ 17	▲ 12	▲ 4	▲ 16	▲ 20	▲ 28

(注)D.I.=「良い」－「悪い」

売上・完工高D.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2010年	4～6 月期	▲ 28	▲ 23	▲ 30	▲ 8	▲ 36	▲ 35
	7～9 //	▲ 30	▲ 26	▲ 38	▲ 19	▲ 31	▲ 33
	10～12 //	▲ 24	▲ 25	▲ 41	▲ 5	▲ 41	▲ 14
2011年	1～3 //	▲ 26	▲ 26	▲ 31	▲ 23	▲ 22	▲ 25
	4～6 //	▲ 21	▲ 9	▲ 31	▲ 49	▲ 25	▲ 15
	7～9 //	▲ 23	▲ 27	▲ 29	▲ 23	▲ 46	▲ 7
	10～12 //	▲ 10	▲ 10	▲ 30	▲ 10	▲ 14	3
2012年	1～3 //	▲ 8	▲ 18	▲ 17	13	▲ 17	4
	4～6 //	▲ 16	▲ 12	▲ 25	▲ 3	▲ 34	▲ 9
	7～9 //	▲ 15	▲ 14	▲ 26	0	▲ 15	▲ 19
	10～12 //	▲ 14	▲ 16	▲ 5	0	▲ 27	▲ 16
2013年	1～3 //	▲ 16	▲ 25	6	▲ 30	▲ 12	▲ 14
	4～6 //	▲ 4	▲ 12	▲ 2	0	▲ 11	3
	7～9 //	2	▲ 14	23	3	▲ 7	7
	10～12 //	11	▲ 6	34	18	16	10
2014年	1～3 //	23	6	50	22	45	15
	4～6 //	▲ 5	▲ 15	6	▲ 12	▲ 20	8
	7～9 //	▲ 9	▲ 16	0	▲ 20	▲ 13	▲ 3
	10～12 //	▲ 12	▲ 17	▲ 2	▲ 34	▲ 27	0
2015年	1～3 //	▲ 20	▲ 31	19	▲ 37	▲ 31	▲ 20
	4～6 //	▲ 24	▲ 35	▲ 16	▲ 34	▲ 16	▲ 14
	7～9 //	▲ 15	▲ 27	▲ 25	2	▲ 10	▲ 7
	10～12 //	▲ 8	▲ 20	▲ 11	4	▲ 10	3
2016年	1～3 //	▲ 10	▲ 27	▲ 5	▲ 21	▲ 17	5
	4～6 //	▲ 24	▲ 25	▲ 10	▲ 26	▲ 33	▲ 25
	7～9 //	▲ 12	▲ 19	5	▲ 26	▲ 37	5
	10～12 //	▲ 7	▲ 11	▲ 1	2	▲ 3	▲ 10
2017年	1～3 //	▲ 2	▲ 22	20	▲ 5	9	▲ 1
	4～6 //	6	▲ 7	5	0	11	19
	7～9 //	2	▲ 9	12	▲ 20	25	6
	10～12 //	4	3	2	▲ 2	11	4
2018年	1～3 //	8	0	9	8	24	7
	4～6 //	▲ 2	▲ 5	▲ 11	▲ 12	11	5
	7～9 //	▲ 2	▲ 15	2	11	3	5
	10～12 //	▲ 8	▲ 22	▲ 9	▲ 8	▲ 8	8
2019年	1～3 //	▲ 16	▲ 30	▲ 1	▲ 28	▲ 6	▲ 8
	4～6 //	▲ 14	▲ 26	▲ 14	▲ 9	▲ 10	▲ 5
	7～9 //	▲ 16	▲ 26	0	▲ 30	▲ 10	▲ 14
	10～12 //	▲ 25	▲ 32	▲ 23	▲ 22	▲ 38	▲ 13
2020年	1～3 //	▲ 44	▲ 43	▲ 29	▲ 50	▲ 44	▲ 49
	4～6 //	▲ 50	▲ 52	▲ 25	▲ 37	▲ 46	▲ 69
	7～9 //	▲ 52	▲ 65	▲ 14	▲ 49	▲ 33	▲ 69
	10～12 //	▲ 37	▲ 52	▲ 14	▲ 40	▲ 11	▲ 45
2021年	1～3 //	▲ 24	▲ 37	4	▲ 14	2	▲ 43
	4～6 //	▲ 2	▲ 15	4	0	10	▲ 1
	7～9 //	▲ 15	▲ 5	▲ 4	▲ 17	▲ 27	▲ 20
	10～12 //	▲ 7	6	▲ 10	▲ 9	▲ 20	▲ 9
2022年	1～3 月期見通し	0	12	▲ 7	▲ 10	▲ 10	▲ 1

(注)D.I.=「増加」-「減少」

損益D.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2020年	4～6 月期	▲ 20	▲ 17	▲ 20	3	▲ 25	▲ 32
	7～9 //	▲ 22	▲ 19	▲ 30	▲ 17	▲ 21	▲ 27
	10～12 //	▲ 22	▲ 18	▲ 46	▲ 13	▲ 36	▲ 10
2011年	1～3 //	▲ 24	▲ 19	▲ 29	▲ 26	▲ 17	▲ 29
	4～6 //	▲ 15	▲ 8	▲ 31	▲ 34	▲ 12	▲ 10
	7～9 //	▲ 24	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 40	▲ 11
	10～12 //	▲ 10	▲ 17	▲ 19	▲ 8	▲ 17	6
2012年	1～3 //	▲ 14	▲ 24	▲ 20	0	▲ 19	2
	4～6 //	▲ 16	▲ 15	▲ 33	▲ 7	▲ 12	▲ 16
	7～9 //	▲ 17	▲ 16	▲ 21	▲ 16	▲ 10	▲ 21
	10～12 //	▲ 15	▲ 20	▲ 9	▲ 8	▲ 19	▲ 15
2013年	1～3 //	▲ 16	▲ 27	▲ 4	▲ 35	▲ 12	▲ 7
	4～6 //	▲ 9	▲ 18	▲ 10	▲ 9	▲ 14	3
	7～9 //	▲ 5	▲ 9	4	5	▲ 17	▲ 6
	10～12 //	1	▲ 6	16	3	0	1
2014年	1～3 //	12	1	43	19	5	7
	4～6 //	▲ 5	▲ 1	8	▲ 15	▲ 31	1
	7～9 //	▲ 11	▲ 11	5	▲ 32	▲ 17	▲ 11
	10～12 //	▲ 11	▲ 10	▲ 6	▲ 28	▲ 25	0
2015年	1～3 //	▲ 14	▲ 27	13	▲ 23	▲ 16	▲ 14
	4～6 //	▲ 19	▲ 34	▲ 15	▲ 13	▲ 18	▲ 7
	7～9 //	▲ 13	▲ 25	▲ 24	3	▲ 6	▲ 3
	10～12 //	▲ 4	▲ 11	▲ 2	▲ 11	▲ 5	5
2016年	1～3 //	▲ 4	▲ 19	10	▲ 19	▲ 5	5
	4～6 //	▲ 14	▲ 21	7	▲ 13	▲ 19	▲ 19
	7～9 //	▲ 8	▲ 16	2	▲ 7	▲ 16	▲ 3
	10～12 //	▲ 8	▲ 7	▲ 7	▲ 4	1	▲ 18
2017年	1～3 //	▲ 4	▲ 9	17	▲ 4	▲ 15	▲ 8
	4～6 //	2	▲ 5	12	▲ 3	▲ 11	12
	7～9 //	▲ 1	▲ 4	7	▲ 9	5	▲ 2
	10～12 //	▲ 5	▲ 15	▲ 6	▲ 4	9	1
2018年	1～3 //	▲ 3	▲ 1	0	▲ 3	10	▲ 12
	4～6 //	▲ 10	▲ 22	2	▲ 15	1	▲ 10
	7～9 //	▲ 12	▲ 20	▲ 12	0	▲ 1	▲ 15
	10～12 //	▲ 16	▲ 17	▲ 8	▲ 29	▲ 25	▲ 8
2019年	1～3 //	▲ 19	▲ 35	▲ 7	▲ 28	▲ 4	▲ 13
	4～6 //	▲ 15	▲ 28	▲ 10	▲ 11	▲ 6	▲ 7
	7～9 //	▲ 17	▲ 25	▲ 8	▲ 17	▲ 19	▲ 13
	10～12 //	▲ 22	▲ 22	▲ 21	▲ 32	▲ 41	▲ 8
2020年	1～3 //	▲ 34	▲ 33	▲ 27	▲ 32	▲ 34	▲ 39
	4～6 //	▲ 45	▲ 47	▲ 20	▲ 38	▲ 35	▲ 67
	7～9 //	▲ 41	▲ 47	▲ 22	▲ 43	▲ 20	▲ 59
	10～12 //	▲ 27	▲ 34	▲ 15	▲ 35	▲ 9	▲ 33
2021年	1～3 //	▲ 23	▲ 33	4	▲ 11	▲ 14	▲ 36
	4～6 //	▲ 2	▲ 7	5	0	▲ 4	0
	7～9 //	▲ 18	▲ 2	▲ 9	▲ 12	▲ 43	▲ 28
	10～12 //	▲ 10	5	▲ 9	▲ 15	▲ 30	▲ 12
2022年	1～3 月期見通し	▲ 12	▲ 3	▲ 18	▲ 16	▲ 16	▲ 12

(注)D.I.=「好転」-「悪化」

資金繰りD.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2010年	4～6 月期	▲ 11	▲ 2	▲ 10	▲ 2	▲ 38	▲ 11
	7～9 //	▲ 12	▲ 6	▲ 12	▲ 5	▲ 27	▲ 14
	10～12 //	▲ 9	▲ 5	▲ 5	▲ 10	▲ 25	▲ 7
2011年	1～3 //	▲ 13	▲ 2	▲ 23	▲ 5	▲ 20	▲ 19
	4～6 //	▲ 7	▲ 2	▲ 9	▲ 6	▲ 20	▲ 9
	7～9 //	▲ 9	▲ 4	▲ 8	▲ 10	▲ 23	▲ 6
	10～12 //	▲ 10	▲ 10	▲ 16	▲ 7	▲ 20	▲ 2
2012年	1～3 //	▲ 10	▲ 8	▲ 9	▲ 3	▲ 22	▲ 7
	4～6 //	▲ 12	▲ 8	▲ 14	▲ 8	▲ 25	▲ 7
	7～9 //	▲ 9	▲ 10	▲ 6	0	▲ 18	▲ 7
	10～12 //	▲ 10	▲ 9	▲ 13	2	▲ 24	▲ 8
2013年	1～3 //	▲ 13	▲ 12	▲ 15	▲ 15	▲ 16	▲ 10
	4～6 //	▲ 6	▲ 7	3	5	▲ 20	▲ 6
	7～9 //	▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 2	▲ 13	▲ 11
	10～12 //	▲ 6	▲ 8	▲ 3	▲ 2	▲ 13	1
2014年	1～3 //	1	3	5	0	▲ 5	▲ 2
	4～6 //	▲ 2	▲ 2	▲ 1	▲ 4	▲ 9	2
	7～9 //	▲ 5	▲ 6	7	▲ 4	▲ 18	▲ 4
	10～12 //	▲ 7	▲ 10	▲ 2	▲ 5	▲ 13	▲ 3
2015年	1～3 //	▲ 5	▲ 6	2	▲ 2	▲ 9	▲ 7
	4～6 //	▲ 5	▲ 10	0	▲ 3	▲ 11	▲ 2
	7～9 //	▲ 5	▲ 13	3	2	▲ 11	0
	10～12 //	▲ 7	▲ 15	▲ 4	3	▲ 10	▲ 7
2016年	1～3 //	▲ 3	▲ 7	▲ 4	▲ 2	▲ 11	1
	4～6 //	▲ 5	▲ 7	8	5	▲ 12	▲ 12
	7～9 //	0	0	7	3	▲ 4	▲ 2
	10～12 //	▲ 2	▲ 5	4	2	▲ 8	▲ 1
2017年	1～3 //	▲ 1	2	4	0	▲ 3	▲ 3
	4～6 //	1	▲ 1	20	5	▲ 6	▲ 3
	7～9 //	0	▲ 2	10	▲ 4	▲ 2	▲ 1
	10～12 //	1	3	0	▲ 7	▲ 4	4
2018年	1～3 //	2	1	7	0	0	0
	4～6 //	0	3	11	▲ 7	▲ 1	▲ 6
	7～9 //	▲ 2	▲ 5	5	3	▲ 2	▲ 3
	10～12 //	▲ 3	▲ 9	11	0	▲ 2	▲ 6
2019年	1～3 //	▲ 4	▲ 6	2	▲ 2	1	▲ 8
	4～6 //	▲ 4	▲ 4	▲ 2	▲ 2	▲ 12	▲ 1
	7～9 //	▲ 5	▲ 10	0	▲ 5	▲ 11	2
	10～12 //	▲ 3	▲ 2	▲ 6	▲ 8	▲ 15	6
2020年	1～3 //	▲ 18	▲ 17	▲ 10	▲ 5	▲ 24	▲ 23
	4～6 //	▲ 21	▲ 26	6	▲ 15	▲ 21	▲ 34
	7～9 //	▲ 17	▲ 20	▲ 2	▲ 16	▲ 7	▲ 28
	10～12 //	▲ 13	▲ 14	0	▲ 16	▲ 3	▲ 25
2021年	1～3 //	▲ 16	▲ 14	▲ 5	▲ 9	▲ 11	▲ 28
	4～6 //	▲ 11	▲ 9	7	▲ 3	▲ 12	▲ 22
	7～9 //	▲ 14	▲ 11	3	▲ 3	▲ 18	▲ 28
	10～12 //	▲ 12	▲ 11	▲ 7	▲ 16	▲ 10	▲ 18
2022年	1～3 月期見通し	▲ 14	▲ 14	▲ 11	▲ 19	▲ 8	▲ 18

(注)D.I.=「楽」-「窮屈」

設備投資実施割合の推移

単位：％

			全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2010年	4～6	月期	29	46	16	18	15	28
	7～9	〃	32	48	26	23	17	29
	10～12	〃	33	35	27	28	19	43
2011年	1～3	〃	32	45	12	23	27	35
	4～6	〃	29	35	13	18	21	38
	7～9	〃	33	30	22	43	27	41
	10～12	〃	32	35	23	18	23	42
2012年	1～3	〃	27	30	10	32	27	29
	4～6	〃	31	41	18	18	24	36
	7～9	〃	37	45	23	26	30	45
	10～12	〃	36	42	24	24	34	43
2013年	1～3	〃	35	44	24	26	37	35
	4～6	〃	31	40	24	22	23	34
	7～9	〃	36	44	28	29	32	38
	10～12	〃	34	39	16	28	36	40
2014年	1～3	〃	36	43	34	25	44	32
	4～6	〃	32	35	27	20	31	36
	7～9	〃	34	39	21	17	34	41
	10～12	〃	35	44	17	20	36	41
2015年	1～3	〃	33	40	28	21	26	39
	4～6	〃	34	38	25	26	29	41
	7～9	〃	34	37	18	15	39	44
	10～12	〃	36	39	28	26	38	42
2016年	1～3	〃	37	42	23	32	43	40
	4～6	〃	35	41	28	23	28	41
	7～9	〃	40	42	31	30	48	44
	10～12	〃	38	45	23	27	35	45
2017年	1～3	〃	39	46	31	20	44	42
	4～6	〃	40	42	26	38	34	48
	7～9	〃	38	42	30	32	33	43
	10～12	〃	38	44	29	28	40	39
2018年	1～3	〃	39	51	25	24	40	39
	4～6	〃	37	40	35	32	38	37
	7～9	〃	36	39	30	24	41	39
	10～12	〃	39	49	35	21	37	40
2019年	1～3	〃	38	46	29	20	35	44
	4～6	〃	36	36	29	28	35	42
	7～9	〃	39	49	22	28	32	46
	10～12	〃	37	46	29	22	32	41
2020年	1～3	〃	38	38	28	28	24	48
	4～6	〃	30	33	30	24	25	31
	7～9	〃	34	38	19	21	36	39
	10～12	〃	34	42	22	28	29	38
2021年	1～3	〃	34	33	34	21	37	38
	4～6	〃	35	38	33	30	30	38
	7～9	〃	36	43	29	20	33	40
	10～12	〃	35	39	15	34	32	41
2022年	1～3	月期見通し	33	40	18	28	26	40

雇用人員D.I.の推移

			全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2010年	4～6	月期	8	14	20	8	9	▲ 3
	7～9	〃	7	13	4	17	▲ 2	▲ 3
	10～12	〃	▲ 1	7	▲ 16	20	▲ 9	▲ 6
2011年	1～3	〃	▲ 3	3	▲ 15	11	▲ 12	▲ 4
	4～6	〃	3	6	19	8	0	▲ 9
	7～9	〃	▲ 2	9	8	5	▲ 19	▲ 14
	10～12	〃	▲ 1	9	0	▲ 3	0	▲ 16
2012年	1～3	〃	▲ 6	2	▲ 9	6	▲ 18	▲ 9
	4～6	〃	1	6	11	11	▲ 2	▲ 12
	7～9	〃	▲ 6	1	▲ 9	12	▲ 13	▲ 13
	10～12	〃	▲ 8	2	▲ 17	2	▲ 10	▲ 18
2013年	1～3	〃	▲ 9	▲ 3	▲ 10	7	▲ 8	▲ 20
	4～6	〃	▲ 9	0	▲ 12	▲ 4	▲ 13	▲ 16
	7～9	〃	▲ 16	▲ 8	▲ 33	▲ 3	▲ 8	▲ 21
	10～12	〃	▲ 18	▲ 5	▲ 43	▲ 10	▲ 3	▲ 28
2014年	1～3	〃	▲ 25	▲ 13	▲ 36	▲ 13	▲ 23	▲ 36
	4～6	〃	▲ 19	▲ 10	▲ 29	0	▲ 29	▲ 25
	7～9	〃	▲ 20	▲ 6	▲ 41	▲ 5	▲ 28	▲ 28
	10～12	〃	▲ 27	▲ 13	▲ 46	▲ 5	▲ 22	▲ 39
2015年	1～3	〃	▲ 26	▲ 17	▲ 37	▲ 12	▲ 26	▲ 37
	4～6	〃	▲ 22	▲ 16	▲ 30	▲ 10	▲ 31	▲ 23
	7～9	〃	▲ 23	▲ 14	▲ 35	▲ 3	▲ 25	▲ 30
	10～12	〃	▲ 27	▲ 15	▲ 43	▲ 12	▲ 28	▲ 38
2016年	1～3	〃	▲ 25	▲ 10	▲ 44	▲ 10	▲ 23	▲ 37
	4～6	〃	▲ 18	▲ 1	▲ 23	▲ 7	▲ 34	▲ 27
	7～9	〃	▲ 29	▲ 24	▲ 42	▲ 9	▲ 30	▲ 36
	10～12	〃	▲ 36	▲ 33	▲ 47	▲ 10	▲ 32	▲ 41
2017年	1～3	〃	▲ 39	▲ 28	▲ 53	▲ 22	▲ 35	▲ 49
	4～6	〃	▲ 36	▲ 31	▲ 47	▲ 8	▲ 36	▲ 46
	7～9	〃	▲ 39	▲ 34	▲ 56	▲ 14	▲ 41	▲ 45
	10～12	〃	▲ 44	▲ 42	▲ 64	▲ 15	▲ 48	▲ 46
2018年	1～3	〃	▲ 45	▲ 42	▲ 51	▲ 23	▲ 59	▲ 49
	4～6	〃	▲ 42	▲ 40	▲ 49	▲ 35	▲ 47	▲ 39
	7～9	〃	▲ 42	▲ 38	▲ 56	▲ 34	▲ 51	▲ 37
	10～12	〃	▲ 45	▲ 34	▲ 60	▲ 37	▲ 53	▲ 48
2019年	1～3	〃	▲ 42	▲ 26	▲ 53	▲ 38	▲ 56	▲ 48
	4～6	〃	▲ 37	▲ 23	▲ 42	▲ 33	▲ 51	▲ 42
	7～9	〃	▲ 43	▲ 35	▲ 56	▲ 28	▲ 55	▲ 47
	10～12	〃	▲ 45	▲ 37	▲ 47	▲ 35	▲ 53	▲ 48
2020年	1～3	〃	▲ 40	▲ 33	▲ 53	▲ 30	▲ 50	▲ 39
	4～6	〃	▲ 12	2	▲ 32	▲ 20	▲ 27	▲ 5
	7～9	〃	▲ 15	▲ 5	▲ 47	▲ 9	▲ 30	▲ 5
	10～12	〃	▲ 31	▲ 16	▲ 56	▲ 19	▲ 42	▲ 30
2021年	1～3	〃	▲ 23	▲ 11	▲ 53	▲ 32	▲ 46	▲ 34
	4～6	〃	▲ 26	▲ 21	▲ 47	▲ 18	▲ 33	▲ 18
	7～9	〃	▲ 25	▲ 19	▲ 43	▲ 25	▲ 33	▲ 17
	10～12	〃	▲ 43	▲ 42	▲ 46	▲ 35	▲ 48	▲ 44
2022年	1～3	月期見通し	▲ 43	▲ 36	▲ 48	▲ 31	▲ 56	▲ 44

(注) D.I. = 「過剰」 - 「不足」

最近の業況、鹿児島県の景気の現状などに関する主な意見

		意 見
製 造 業	食料品	飲食店、宿泊施設での消費が少しは増えて回復の兆しが見えてきたが、巣ごもり消費の部分も今後もあり取り組んでいく必要があると考える。
		原材料、燃料の高騰が続く。一部は販売価格に転嫁しているが全額補填できず原価率が上昇する。
		コロナの感染者の急激な減少で日常生活も落ち着きが出始め、徐々に消費も徐々に増えてきたがオミクロンの感染者が国内にも発生した事により消費が減退することが心配。
	機械・金属	最近電子部品の入手が困難または納期の長期化、単価上昇などがあり今後が気がかりである。
		景気は良くなりつつありますが、鹿児島県全体で労働人口流出防止策を強化していただきたい。特に人口が少ない地域に力を入れていただきたい。
		素材不足で完成品が造れない状況がでており、2022年前半さまざまな製品に影響が懸念されるため早めの材料発注に取り組んでおります。県内は、コロナ感染者減少により少し人は動いていますが新たなウイルス感染予防対策を準備して行く必要があると感じます。
建 設 業	土木	育成した技能実習生が、特定技能実習生となり、賃金の高い県外企業へ流出して行きます。
	その他建設	材料の入手がだんだんと難しくなってきた。材料不足による工期延長の場合、民間企業は当てが外れて資金繰り困難となり相当追い込まれる可能性がある。また、建物の老朽化に伴う建て替えや取り壊しが今後増えてくるが、その際のアスベスト除去のためには多額の費用が必要である。現状、補助は無いに等しいので安全リスクが脅かされる可能性も危惧される。政府自治体の腕の見せ所かと期待しオミクロン株の感染拡大（第6波）の影響拡大の懸念や、半導体不足による部品供給の物流回復の遅れにより、景気の回復は来年度上期まではかかるのではないかと予想する。
卸 売 業	その他卸売	医薬品卸は、2021年度から薬価が毎年改定となり、毎回の大幅な薬価マイナス改定（2022年度も）により苦境に立たされています。
小 売 業	スーパー	新型コロナウイルスの感染拡大状況によって景気は大きく左右するため、先が見通せない。
		昨年プレミアム商品券など対策が取られたが、その裏年となりお歳暮などがダウンして影響が大きい。
	自動車	10月以降、コロナの警戒宣言解除により街に人が戻っており飲食、ホテル、運輸業など回復の兆しがあるように感じます。しかし他業種への効果波及はまだまだ遠い。
	その他小売	エネルギー価格の高騰が早く収まれば幸いです。
そ の 他 産 業	旅館・ホテル	新型コロナウイルスの影響をまともに受けている宿泊業界においては、オミクロン株による第6波で希望が持てなくなった。このままの状況が続くなら、存続危機に陥るのではと危惧する。金融機関からの資金調達も借金が膨らむだけであり、金利負担だけが経営を圧迫することは一目瞭然かと考え県内景況に関しては、オミクロン株による感染拡大のスピード、医療機関の逼迫度で大きく変動すると予想する。特に、ここ3か月間程度の業況については見通しは立てにくい。観光業、飲食業、宿泊業は回復のピッチはスローダウンするものと思われる。
		観光業にオミクロン株が流行し始め、年末までの動きから急ブレーキがかかった状態。今後の新薬の投与の進捗で感染状況が一変することを期待している。その成果次第で来年度の状況判断ができてくると考える。
	サービス	コロナの影響を受けにくい業種ではあるものの人材確保は年々厳しさを増しており、若い世代が首都圏へ流出している現状は将来に不安を感じます。
		新型コロナウイルスの感染が懸念される間は、それ以前の業況に戻ることはないように思える。